

御挨拶にかへて

御地未曾有の大震災に皆様方の御驚きと御悲しみを
お察し致します。そうして貴女様方の幸にも、御安
全で、あつたことを御喜びすると共に、御近親なり
御同胞の御悲運に對し衷心哀悼の誠意を表します。
私達も一昨年御同様の大地震火災に遭遇しましたので
尙更御同情に堪へません。又々此悲惨の極みを目の
あたり見せつけられました。こうして、ちつとして
ゐられませう。何か私達の微意を以て出来得る丈
けの御慰さめ、御力添へを致し度と存じますが、何
分女性の悲しさ思ふ萬分の一の働きも出来ませず、
返すくも遺憾に堪へません。

新聞の號外の着く毎に將又實地慰問をなされた方々
の狀報の参ります毎に、更に悲しみの涙が滲み
ます。御同情の血が波立ちます。何かして私達の
心の萬分の一をも、御傳へ致しまして御罹災の方々
をお慰さめ致し度とあせりました。誠に僅な品でお
恥かしいのでございますが、誠の汗の結晶をお送り
致しますから御使用下さいませれば之に過ぎた喜び
は御座いません。

どうか皆様御身体を御大切になさいまして折角復
興の爲めに御奮闘遊ばすやう、御祈り申し上げます
決してく御力落しなさいますな弱い女性でも御互
に力に成り合ひませう。

昭和二年三月

日

兵庫縣城崎郡豊岡町

豊岡町婦人會